

山田みやこの活動報告

令和7年7月14日（月）

～とちぎの未来を考える～ 栃木県議会県政ミーティング

県議会では、とちぎの未来を担う子どもたちに議会に対する関心を深め、理解を深めてもらう主権者教育の一環として開催。

県議会議員が学校を訪れ、県議会の役割・取り組みの紹介、生徒たちとの意見交換を行っている。今回は鹿沼東高等学校にて開催。

テーマは「私たちが拓く栃木県の未来」、生徒からそれぞれ質問を受け、議員が答える方式。

- ・消滅可能性都市が栃木県にもある。若者の県外転出防止や地元に戻るための活動を広めてほしい。
- ・若い人が住みやすい栃木にする為、子ども医療費無償化拡大、進学、就職支援の強化。
- ・観光振興を支える人材育成、地域間格差是正。
- ・地域住民との交流や会話が減少していることに危機感がある。直接交流する機会を増やし、栃木県を盛り上げる行事で地域のつながりを強くしたい。
- ・空き店舗対策に力を入れてほしい。



高校生世代からみた栃木県の課題を的確にとらえている。

なによりもSNSなどのデジタルコミュニケーションにより個別化、効率化を求める情報交換ツールが変わってきて、対面でのコミュニケーションが希薄になっている。

そのなかで、年齢の違う世代と抵抗なく会話できたり、自分の住んでいるところの良さをみつける視点など、尺度で測れない経験からくる感情は高校生も必要だと感じている。

失敗を恐れたり、他人からの評価を気にしあがめたりせず、自分育てをしっかり行い、自己肯定感、充実感を持って進んでいっていただきたい。

この様な機会をこれからも続けていくことが、政治に関心を向けることに、そして、議員を身近に感じることにつながっていく。

